

久里浜小学校 5 年生の授業

久里浜小学校 5 年生は、米作りについて学びました。そして稲を収穫した後、残った藁でお正月飾りを作り、地域の文化も学びました。

令和 5 年度の実績

以下の日程で専門家の講師が授業を行いました。

- 授業「学区の自然を体験しよう」
座 学1：令和 5 年 6 月 12 日(月曜日)
座 学2：令和 5 年 11 月 1 日（水曜日）

授業「学区の自然を体験しよう」

座学（田植えについて）

- 実施日：令和 5 年 6 月 12 日（月曜日）
- 内 容：講師は学区の昔（明治のころ）の地図と現在の地図を見比べて、変化したところ（海岸が埋め立てられた、田んぼがなくなったなど）を説明しました。また、里山とは何か、里山があることでどのような生き物が生きられるか、生物多様性とは、について説明しました。その後、田植えについての方法、注意点を説明しました。生徒たちは自分たちの受けたバケツ稲や、学校内での田植えについて、質問し、田植えの実施に向けて具体的なイメージを作ることができました。



座学

- 実施日：令和5年11月1日（水曜日）
- 内 容：足踏みの千歯こきや唐箕といった昔の農具を使って、自分たちが育てた稲の脱穀作業をしました。五感を使った学習により、記憶に残るものとなりました。残った稲わらで正月飾りを作り、地域の文化について学ぶことにつながりました。

